

1.調査目的等

・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2.学校ごとの指標

【短期指標】

令和6年度全国学力・学習状況調査の文科省標準化得点:国語100、算数100以上

3.指標に向けての取組

【授業づくり】

○国語、算数における1時間の終末場面で「分かったこと・できるようになったこと」「わからなかったこと」等を振り返り、ノート等を書く活動の位置付け(毎時間)
 ○習熟度別を含む少人数分割授業の実施(全学年の算数科の重要単元における分割授業、指導方法改善教員の活用)

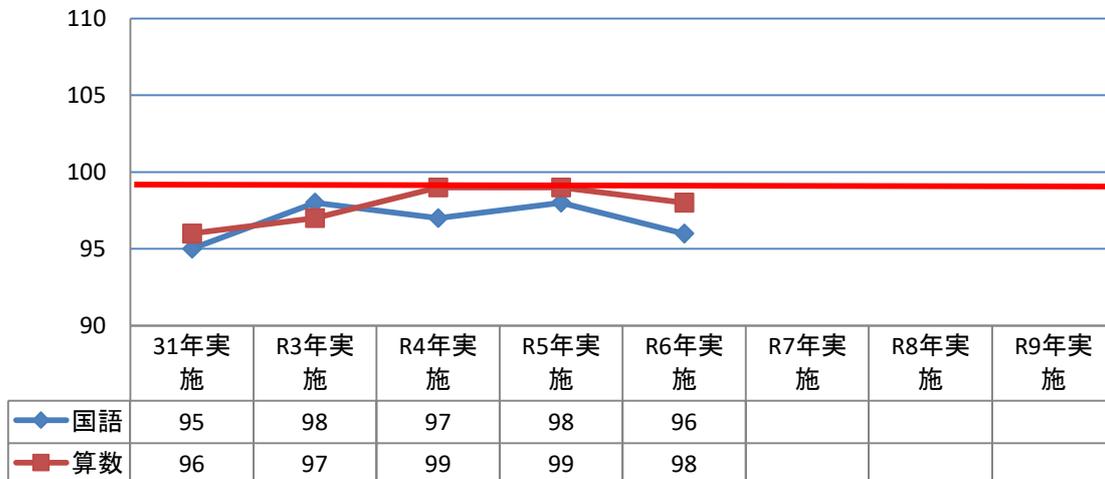
【学力基盤づくり】

○朝の活動における算数科基礎基本の問題と国語科の読解力を高める問題の反復学習
 ○家庭学習(宿題)での正答率が低い問題への解説
 ○自分(たち)で、目標を設定して取り組み、達成感を味わう活動の設定

4.調査結果(全国の平均正答数を100としたときの文科省標準化得点)

	国 語	算 数
本校	96	98
嘉麻市	97	99
全国	100	100

推移



5.各学校における分析

- 国語・算数ともに、指標としている全国平均に達することができなかった。
- 国語では、A層の割合が増えたと共にD層の割合も増えた。児童質問紙の「国語の授業の内容はよくわかりますか」という項目で、71.1%の児童が1(当てはまる)・2(だいたい当てはまる)と解答しているのに対して、28.8%の児童が3(どちらかといえば、当てはまらない)・4(当てはまらない)と解答している。授業の中で理解できなかった内容の積み残しが結果として出ていると考えられる。
- 国語では、「話すこと・聞くこと」の思考力・判断力・表現力の問題に課題が見られた。
- 算数では、A・B層の割合が増え、D層の割合が減っている。形成的評価を重視し、児童の学びを丁寧に見とることや習熟段階で、指導方法工夫改善教員等を活用した個別指導を充実させたことが成果に繋がったと考える。
- 算数では、解答の求め方を、言葉や式などを用いて記述する問題に特に課題が見られた。

【四分位層の割合:同一集団】

	国語				算数			
	A層	B層	C層	D層	A層	B層	C層	D層
R5県学力	13.8	35.4	20.0	30.8	17.2	20.3	25.0	37.5
R6全国調査	20.3	20.3	21.9	37.5	18.7	23.4	26.6	31.3
差	6.5	-15.1	1.9	6.7	1.5	3.1	1.6	-6.2

6.各学校における今後の取組

- 国語科では、説明文や物語文などを読み、内容を説明したり分かったことや考えたことを話し合ったり文章にまとめたりする活動を仕組み、相互に交流させるようにする。
- 算数科では、知識・技能の定着を図るために、毎時間のまとめでは、練習問題やAドリルを活用した問題に取り組みせ、形成的評価を重視した児童の学びの見とりを丁寧に行う。また、各学年各単元の終末における習熟段階で指導方法工夫改善教員等を活用した個別指導を充実させる。
- 算数科・国語科とも、「書く活動」を位置づける際には「なぜ」「どうして」「どのように」「どうすれば」などの児童が思考を働かせる観点を明確にした発問を意図的に行い、考えたこと・伝えたいことなどを書くようにする。また、学習の振り返りでは、「分かったこと」「できるようになったこと」「わからなかったこと」「もっと知りたいこと」などを具体的に書かせるようにする。
- 「話す・聞く能力」を育むために、読書活動の推進や言語活動の充実(相手や目的に応じた適切な言葉づかいの指導、感想を述べさせる等)を図る。
- 基礎基本の定着を図るために、国語科と算数科において、単元テストにおいて、80点以上の通過率80%以上を達成できるようにしていく。単元テストの結果から、80点未満の児童を対象に補充学習や再テスト等を行い、着実に学習内容を定着させる。
- CD層の児童には、朝の活動の時間を活用して読解力や計算力の向上を図る個別の取り組みを行っていく。
- 家庭学習(特に週末課題)では、Aドリル等を活用し個に応じた課題に取り組ませる。

7.嘉麻市教育委員会としての今後の取組

- ◎今後の取組を具体化し推進できるように、特に次の3点について指導助言及び支援を行うとともに、周知徹底できるように継続的に指導する。
- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した学習評価からの授業づくり(指導と評価の一体化)や思考を伴う「書く活動」を核とした授業づくりを推進する。そのために、指導主事を派遣して校内研修で授業観察指導を実施したり、「書く活動ポイント9」や「授業チェックリスト」を活用できるように指導助言や支援を行ったりする。
- ◆嘉麻市学力向上全体構想に設定した「家庭学習の取組」を推進する。そのために、Aドリルを活用した個に応じた家庭学習課題の推進を図る。
- また、個に応じた学習課題の提示を進める各学校の取組を交流する場を設定する。
- ◆学力向上検証委員会を開催し、単元や学習のまとまりを単位とした学習状況の把握と個に応じた指導の工夫を推進する。そのために、各学校においてトリプル80の視点から評価を実施するとともに、学力向上検証委員会において、授業づくりや学力向上の取組に対する組織的な評価・改善の在り方について指導する。